R4「30人学級」に関するアンケート結果

R5.3実施　えびの市教育委員会

1　調査対象

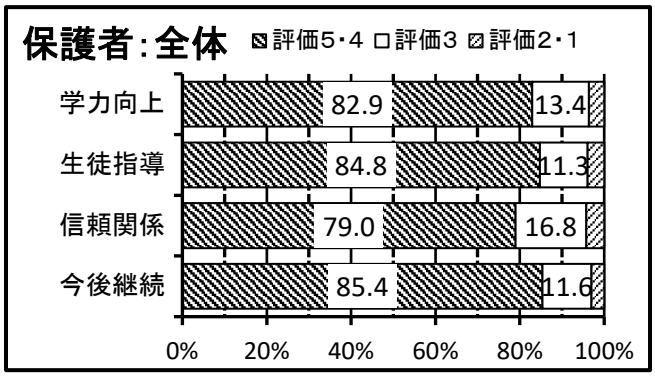
■保護者→30人学級実施学年328名　　小学校3校6学年（飯野小2、加久藤小2、真幸小2）
中学校2校3学年（飯野中2、真幸中1）

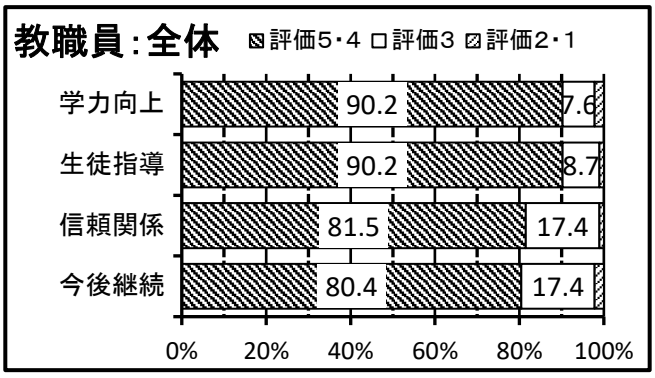
■教職員→市内小中学校　全教職員92名

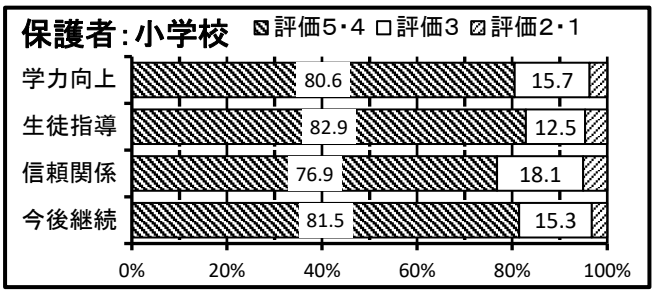
2　アンケート結果

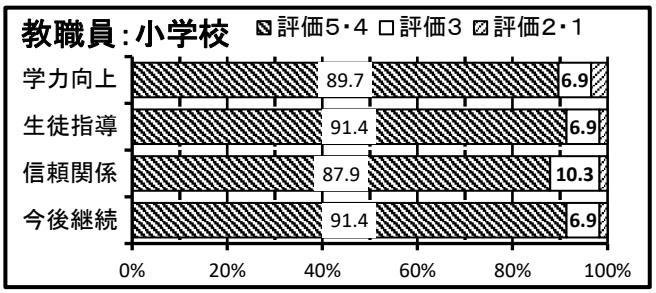
■　3つのねらい「学力の向上」「生徒指導の充実」「信頼関係の深まり」 と 「今後の継続」について評価

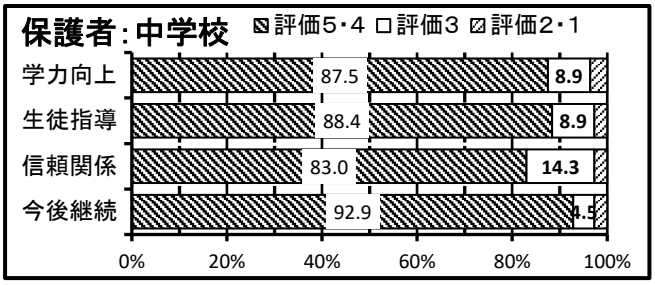
■　5段階評価（5：大変効果的、又は是非継続　　4：効果的、又は継続　　3：わからない
2：効果が無い、又は続ける必要なし　　1：逆効果、又は全く続ける必要なし）

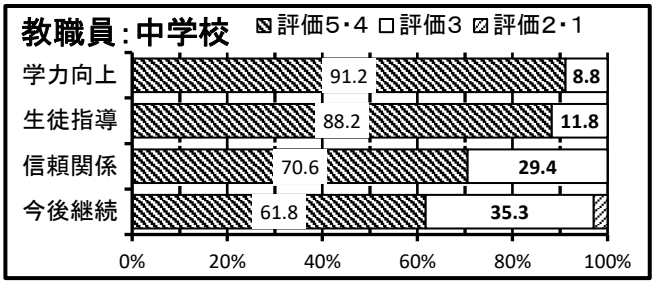












結果の考察

○　保護者・教職員ともに「学力向上」「生徒指導」「信頼関係」の全てで概ね効果的と評価している。
○　保護者よりも教職員が、その効果を実感しており、教職員の評価が高い。
○　保護者では小学校よりも中学校の方が評価が高い傾向にある。
○　教職員の「信頼関係」については、中学校よりも小学校の方が明らかに評価が高い。
○　「学力向上」「生徒指導」「信頼関係」の中では、中学校の教職員を除き、「生徒指導」の評価が比較的高い。
○　今後について、保護者約85％、教職員約80％で、継続を強く望んでいることがわかる。

3　主な意見より

○　保護者の多くが30人学級は教師の目が行き届き、子どもにとって有効であると考えている。また、教職員では、感染症への対応を含め、個に応じた指導が可能となるなどのよさを実感している。保護者、教職員ともに継続を望む声が多い。
○　保護者、教職員ともに、講師の指導力についての意見が見られる。
○　小学校教職員からは、働き方改革の観点からも有効であるとの意見が見られる反面、中学校教員からは授業時数増加により授業の準備時間が失われるなどの意見も見られる。

4　今後の課題

○　30人学級採用の講師の人材確保、及び指導力の向上
○　30人学級講師の効果的な活用のための弾力的な運用
○　30人学級のPR